

生活者通信

緊急提案！怒りのジョイントアピール

吉田夏生

「住専処理に6850億円の税金を使うな！市民集会」第2弾として

★★★住専・エイズ・神戸 怒りのジョイントアピール★★★
「命と財産を守る国民集会」開催の緊急提案です

6850億円の公的資金導入による一次処理を組み込んだ予算案と最終的な支払いを国民に押し付ける住専処理法案のゴリ押し、1800人の薬害エイズ感染、そして依然として未解決の神戸の被災者救済……

これらの問題は現在さまざまな市民団体でバラバラに抗議運動が展開され、平成維新の会員でも「それぞれ重要な問題だが、全部はとても手がまわらない」と考えている人が大半だと思います。しかし、よく考えてみればこれらの問題の根本原因はひとつではないでしょうか。

●国益より、省益と自分の天下り先の確保にしか関心のない官僚と、中央集権化し硬直した行政システム

●次の選挙のための票の確保と党利党略優先で、自分の意見がない、あっても言わない国会議員。そして国会での論議より舞台裏での「政治」に熱中し、政権を巡るパワーゲームフリークと化した政党。

●健全な経営努力でなく中央省庁との利益相互乗り入れや既成政党への献金でおいしい利権を確保しようとする企業。

大前さんの指摘する、政・官・財の「鉄のトライアングル」。まさにこれこそが「巨悪の根源」です。それぞれの問題に対して個別に主張するだけでは、運動の効率が悪いし、元から絶つ事はできません。住専、エイズ、神戸などさまざまな怒りが沸点に達しているいま、「国民の命と財産を守ろう！」という考え方でこれらをひとまとめにし、怒りのパワーを3倍に拡大してアピールすれば、国民やマスコミの注目度は3倍程度では収まらないでしょう。

そこで、「住専・エイズ・神戸 怒りのジョイントアピール 命と財産を守る国民集会」の開催を提案します。

★目標期日／3月31日(日)

★会場／都内、3～400人規模の会場。できれば日比谷の野外音楽堂とか、どこかの公園のようなオープンな場所です。がりの一般市民が参加しやすい場所がベター。

★内容／著名人によるシンポジウムetc.。テーマが3つあるのでディスカッションより各自が言いたいことを言う形式が良いと思います。参加候補者は、2.18住専集会のパネラーを中心に、薬害エイズの原告団代表である北野君(確かそんな名前だったと思います)、そして神戸の被災者で日比谷公園で住専問題に座り込み抗議を行った水野さん。また、タテ割り行政の弊害で救出作業が遅れた「小樽のトンネル事故」の被害者の家族を加えてもいいかも知れません。ビートたけしや泉谷しげるといった大衆受けする有名人も呼びましょう。

抗議声明をどうまとめるか、他の市民団体と共催するか否かなど詰めなければならぬ事もありますが、のんびり会議をやっているのは句を逃してしまいます。風船は膨らんだ時につつかないと破裂しません。平成維新神奈川の岩田さん、萩野谷さんとはすでに「やろう」と合意ができています。平日の夜でも会議はできます。

「平成維新を実現する都民の会」3月度運営会議で「住専・神戸・エイズ 怒りのジョイントアピール！ 命と財産を守る国民集会」実行委員会の設置が承認されました。「住専処理に6850億円の税金を使うな！」実行委員会の山崎委員長が帰国したら、話し合っただけで合体するかも知れません。委員以外でも参加するぞ！という方は至急ご連絡ください。

★★★いま、市民運動の歴史を変える新しい運動を！★★★

「住専・神戸・エイズ 怒りのジョイントアピール！ 命と財産を守る国民集会」実行委員長／「平成維新神奈川」企画委員長／「インター市民ネット横浜」代表 吉田夏生(春雄改め、なつお 都合により今後この名前で活動します) Nifty ID GEF05723 TEL/FAX 045-623-1285

生活者通信 第7号 目次

1頁	目次、緊急提案！怒りのジョイントアピール
2頁	2/18住専処理反対市民集会を終わって
3頁	市民集会・会計報告“第2回準備会報告

4頁	住専集会 報道総括
5頁	住専市民集会・声明文
6～7頁	イベント・集会情報、運営細則最新版
8～11頁	平成維新を実現する都民の会 第8回 運営会議議事録
12頁	全国協議会・報告